

結婚式場やセレモニー会場を運営する東京・白金台の八芳園。真夏は結婚式が少ない時期だが、7月18日は着飾った家族連れの姿が目立った。家族で成人式を開くのだという。

夏に成人式？ そこで式を見学させてもらった。大きなフロアで、千葉県八千代市在住の両親と兄弟4人がテーブルを囲んでいる。司会者が式の開催を宣言すると、若い着物の女性が入場してきた。本人、家族と一緒に撮影すると、儀式も執り行われる。

両親が子育ての思い出と励ましの言葉をつづった「巣立ち証書」を朗読する。これが終わると成人式を迎えた子供が家族

真夏に成人式のナゼ

への感謝状を読み上げ、開かれるかどうかわからないので、やってみようという段取りだった。た。こんなに大がかりだ

新型コロナウイルス禍とは思わなかったけど」の終息は見えない。八芳園と笑う。

園での成人式を終えた金子幸恵さんは「成人式が売のいつ和（新潟県十日



八芳園で開かれた家族だけの成人式（東京都港区）

ヒットのクスリ

祝典の原点見つめ直す

町市)。新たな「呉・宝 願いだっただけだ。や記念目にお金を惜しま

・美（ごほうび）」市場 48年には成人の目が制 ない。成人指輪なども用

が、それだけではない。定され、現在の式典につ 意しているそうだ。

責任者の中西昌文アニバ 和どころか、式の途中で 意味を変えて、消費の場

ーサリー事業部長は歴 新成人が暴れるなど迷走 になっているケースは引

史的な観点から成人式の 再設計を試みていた。 再設計を試みていた。

江戸時代までは10代の 希望は強いし、日本固有 クリスマス。近年はそれ

うちに元服という名で成 のセレモニー。両親は子 ぞれ役割も変質し、おい

人式を開いていた。この 育て卒業、子供は巣立ち しいスイーツを食べる記

時代は栄養不足などの理 と双方が祝う家族のため 念日や、自由に騒げるイ

由で幼少期に亡くなるケ の式として作り直すべき べントになっている。

ースが多く、「よく生き だ」（中西部長）。 バレンタインはともか

抜いた」という意味が強 しかも来年はコロナ禍 今年はいずれも3密